

【回復期リハビリテーション病棟の施設基準に係る掲示事項】

(1) 退棟等患者数及び内訳(令和7年1月～3月)

	回復期リハビリテーション病棟から退棟した患者数	68名
1	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	43名
2	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	19名
3	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	4名
4	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	1名
5	股関節又は膝関節の置換術後の状態	1名
6	急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態	0名

(2) 直近のリハビリテーション実績指数

R6年10月～R7年3月
48.9

各患者様の(FIM得点[運動項目])の、退棟時と入棟時の差の総和

$$\text{実績指数} = \frac{\text{各患者様の(FIM得点[運動項目])の、退棟時と入棟時の差の総和}}{\text{各患者様の} \left(\frac{\text{入棟から退棟までの在棟日数}}{\text{状態ごとの各リハビリテーション病棟入院料の算定上限日数}} \right) \text{の総和}}$$

令和7年4月
AOI国際病院